

根津鋼材

グループ経営強化

村田鋼業社長に根津取締役

八潮事業所と一体運営



根津取締役

有力コイルセンターの根津鋼材（本社・東京都荒川区東日暮里、社長・根津訓光氏）は、100%子会社の村田鋼業（千葉県浦安市、社長・安部博行氏）と

のグループ経営効率化と二元管理体制を強化するため、11月1日付で根津慶夫取締役（須賀川事業所長）が村田鋼業の社長を兼務することを決めた。

根津取締役は村田鋼業に常勤となるが、グループの関東地区拠点をつらぬく「関東事業所」として根津鋼材・八潮事業所（埼玉県八潮市）と村田鋼業を統括。両拠点の一体運営を手掛けていく。

これに伴い、須賀川事業所長は永山良久取締役東北事業部長が兼務。また、村田鋼業の安部社長は、相談役として当面は後方支援や後進の育成に当たるとになる。

根津鋼材は09年春に村田鋼業を完全子会社として統合し、経営の一体化を推進。決算期の統一化や基幹業務システムの統合・グループネットワークの整備、情報の共有化などを順次手掛け、今年8月までにめどをつけた。

今後この路線をさらに強化・拡充するため、根津・八潮と村田とを一体運営することに関東マーケットを一元管理する。根津のD NAや仕組み・やり方を村田に浸透・土着させるとともに、経営統合の目的のひとつである「シート加工の村田集約」を急ぐ。

大型レベラーによる一次加工工程はすでに移管したが、二次加工工程も集約する。年内をめどに八潮のシャーリングマシンを、村田に移設することが決まっている。